



多肉植物の栽培と寄せ植え

- 1、多肉植物とはどんな植物？
 - 2、植物学的な生態
 - 3、多肉植物を楽しむ
 - 4、栽培についての説明
 - 5、多肉植物の植え付け
- 

1 - 1、多肉植物とは

- ▶ 葉、茎、根に水分を貯めることができる植物。
- ▶ 具体的は線引きはないが、野菜と球根植物とランは除かれる。
- ▶ 植物の性質を表しただけの用語なので、世界中の多くの植物が含まれる。



図1, 多肉植物の地植えの様子

1 - 2、サボテンと多肉植物

- ▶ サボテンも多肉植物の仲間。「サボテン科」の植物の総称。
- ▶ サボテン科は多肉植物の中でも特に種類が多いため分けて考えられる場合が多い。

サボテンではない→



←こちらはサボテン

図2, 多肉植物とサボテン

1 - 3、自生地環境

- ▶ 雨季乾季があるなど、水分が少ないところで進化してきた
- ▶ 乾燥に強い=過湿に弱い。物によってはメリハリが必要なものもある。



図3, 腐食分のない砂地

2 - 1、形態と分類

- ▶ 貯水構造も持つとともに、光合成による水分消費を抑える構造を持つ。
- ▶ 大半がCAM型光合成という光合成形態を用いているため、夜に明かりを当てると光合成できなくなる。

CAM型光合成：昼に光を溜めて
夜に光合成する形態のこと

2-3、夏型冬型

- ▶ 夏型とは冬が苦手な熱帯植物に近いタイプ。
生育期は4月から10月くらい
- ▶ 冬型とは夏が苦手な高山植物タイプ
生育期は10月から6月くらい
- ▶ 春秋型とはその中間に位置するタイプ。
年に2回休眠する

代表的な夏型種

- ▶ リュウゼツラン、アロエ、カランコエ、クラッスラ、コチドレン、ユーフォルビア、アデニウムなど



図4、アロエ、コチドレン、クラッスラ、カランコエ

代表的な冬型種

- ▶ アエオニウム、コノフィツム、セネキオ、フォーカリア、リトープスなど

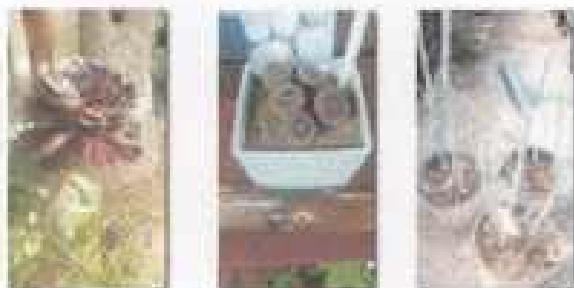


図5、アエオニウム、リトープス、セネキオ

代表的な春秋型種

- ▶ エケベリア、ハオルチア、カステリア、セダム、セネキオ、センペルビウムなど



図6、ハオルチア、エケベリア、カステリア、セダム

3、多肉の楽しみ方

- ▶ 花を楽しむ、形を楽しむ色、模様を楽しむ



図6、花麒麟、熊童子、十二ノ巻

4-1、栽培の基本

- ▶ 自然の営みを再現するのは「水やり」と「土の入れ替え」。
- ▶ 多肉はそれほど肥料を必要としない。
- ▶ 置き場所さえ気をつければ後は適期に適切な土で植え替えて適切な水やり。これで大丈夫。

4-2、水やり

- ▶ 夏型、冬型、春秋型それぞれ生長期に水を与えるのは他の植物と共通。休眠期には水を吸わない。落葉樹などと同じこと。
- ▶ 生長期のおさらい
夏型：およそ4月～10月
冬型：およそ10月～6月
秋冬型：およそ3月～6月、9月～11月

4-3、休眠期の管理

- ▶ 夏型は12月,1月,2月くらいに休眠
- ▶ 冬型は6月,7月,8月くらいに休眠
- ▶ 春秋型はどちらも休眠

多肉植物が水を蓄えて休眠する季節。現地では乾季ということ。水を切って寝かせてあげよう。

4-3、置場と日照 ※重要

- ▶ 園芸全てに言えることだが栽培の成功は置き場所の環境で決まる。
- ▶ 本来は屋外の日陰が望ましいが、室内に置くのであれば明るい窓辺が良い。



図7、出窓などは最もよい環境

4-5、病気について

- ▶ どんな植物、どんな病気であっても早期発見が一番の解決手段。
- ▶ 野菜は人の足首を聞いて育て。これは全ての植物に言えること

4 - 5、増殖

- ▶ 胴切り：茎の途中で切り落とす。根が残ってるのですぐに腋芽が出てくる。
- ▶ 挿し木：切った茎を乾いた土に挿しておく。2週間程度で根が出る。他の植物と違って自分で水を持ってるのでとても簡単。

これを組み合わせると仕立て直しも簡単

5、植付け

- ▶ 生長の季節が合えば寄せ植えも簡単。生長期の内に植え付けをしてあげよう。
- ▶ 多肉植物は他の植物のように根は広がらない。小さい鉢や混み合った状態でも大丈夫。
- ▶ 他の植物では水を与えるタイミングで、あえて水を切る。これが多肉植物のコツ。

5-1、鉢から抜く

- ▶ 鉢から抜いたら軽く土を落とそう。そしてよく観察する。多肉植物はここに害虫がついている場合が多い。
- ▶ 本当は植え付けの前に2日程陰干しする。他の植物のように水を必要としない。むしろ腐ってしまう。



図8、ここまで落としても問題ない

5-2、土入れ

- ▶ 乾がりやすいので土でしっかり固定する。根の太い種類は潰さないように注意。
- ▶ 生長が遅いので根は混み合っても問題はない。極端に混み合っても植えつけても大丈夫。好きなだけ植え付けてみよう。



図9、ここまで混み合っても問題ない

5-3、水やり

- ▶ 植えつけてすぐは水は与えない。陰で2週間ほど水を切って養生しよう。挿し木の時と同じこと。
- ▶ 2週間たったら元の置場に戻して水をあげて普通の管理に戻そう。



図10、完成！あとはじっくり栽培しよう

5-4、取り扱いのおさらい

- ▶ 植付け時には2日ほど水を切る。
- ▶ 植替えたあとの養生期間は2週間ほど水を切る。
- ▶ 挿し穂は2週間ほど水を切って陰干し。



ご清聴ありがとうございました